

# 令和7年度 府中市立武蔵台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第1学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況
			年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長音や拗音、促音や助詞を正しく使って書くこと。</li> <li>・音読を通して、文章を正しく丁寧に読み取ること。</li> <li>・読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を書く機会を多く設ける。ノート指導を徹底し、知識を定着させる。【表現】</li> <li>・「一人で読む」、「みんなで読む」、「役割を分担して読む」など音読の仕方を工夫し、読むことの楽しさを味わわせ、正しく内容を読み取らせる。【表現・対話】</li> <li>・学校図書館の活用を日常化し、好きな本を見つけたり、いろいろなジャンルの読書に親しんだりさせる。また、教師による読み聞かせをすることで、音読などの言語活動に発展させたり、読書を継続させたりする。【発見】</li> </ul>	B
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の構成（合成、分解）について理解し、数概念の理解を深めること。</li> <li>・問題文を読み、解決の仕方を考え、式や言葉を用いて表すこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おはじき、ブロック、「パタパタタイル」などの具体物を使って実際に操作させ、「いくつといくつ」の学習を加減の計算に生かせるよう、習熟を図る。【発見・表現】</li> <li>・問題文の内容理解に、具体物を操作する活動や絵や図に表す活動を通して、考えさせるとともに友達と考え方を共有することで理解を深める。【発見・対話】</li> </ul>	B
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫して活動し、体験した中での気づきを表現すること。</li> <li>・友達との対話や振り返り表現することを通して気づきの質を高めること。</li> <li>・タブレット端末などを活用すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の変化や動植物の様子など、見たこと・感じたことを絵や文を使って表現できるようにする。【発見・表現】</li> <li>・児童の工夫を取り上げ、全体の場で交流させることで、自他の考えを広げられるようにする。【対話】</li> <li>・タブレット端末の活用を多く取り入れ、写真を使って活動や成長の振り返りに役立てるなど表現の幅を広げる。【表現】</li> </ul>	B
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムに合わせて、体を動かすことを避ける児童がいること。</li> <li>・全ての児童が参加できるようにすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場の設定を工夫し、すすんで体を動かすことで理解を深めるための基礎を身に付ける。【表現】</li> <li>・誰もが楽しめる常時活動を充実させ、ペアで相互に伝え合うなど、どの子も参加できるように工夫する。【表現・対話】</li> </ul>	A
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な道具の使い方を理解し、活動すること。</li> <li>・五感を用いて感じる経験を多く取り入れ、感性を高めること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はさみやのりの使い方、紙を折るなど、指先を使った作業を毎回丁寧に説明し、随時個別指導をしていく。【表現】</li> <li>・色んな材料に触る機会や、『嗅ぐ』『聞く』といった体験をすることで、感性を高められるようにする。【発見・表現】</li> </ul>	B
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団行動を素早くすること。</li> <li>・基本的な動きを身に付け、体力を養うこと。</li> <li>・誰とでも仲良く運動できる力を育むこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間の学習の流れを明確にし、活動に見通しをもって活動させる。【発見】</li> <li>・スモールステップで段階的に取り組む活動を設定し、基本的な動きを身に付けさせる。また、毎時間、十分な運動量を確保し、体力の向上を図る。【決定】</li> <li>・活動内容や教師の声掛けなどを工夫することで、運動の楽しさや友達と取り組む楽しさを味わわせるようにする。【対話】</li> </ul>	A

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和7年度 府中市立武蔵台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況
			年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な方法や言葉を用いて自分の考えを相手に伝えたり相手の考えを聞いたりすること。</li> <li>文章の書き方等を身に付けること。（句読点、拗音、長音）</li> <li>文章の順序を考え、内容を正しく読み取ること。</li> <li>読書に親しみ、語彙を増やすこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉を使った体験的活動を充実させ、動作化などの場面を取り入れていく。【対話】</li> <li>文章や漢字を書く機会を定期的に作り、自分や友達と見直す時間の設定をするなど継続的に指導する。【表現】</li> <li>多様な方法で音読したり、叙述に基づいて読み取ったことを共有したりする。【表現・対話】</li> <li>読書活動を充実させ、美しい日本語に触れる機会を増やしていく。【発見】</li> </ul>	B
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り上がりのたし算、繰り下がり引き算、かけ算九九などの計算を正確に行うこと。</li> <li>数の概念の定着を図ること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>復習や家庭学習等で継続的な取組を行い、反復練習を充実させることができるようにする。その際、友達同士で教え合う時間を確保する。【対話】</li> <li>図や、具体物を使用し、数を視覚的にとらえさせるとともに、友達と考え方を共有することで理解を深める。【対話】</li> </ul>	B
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>作りたいおもちゃや、行きたい町の場所など、自分のやりたい課題を、自分で見付け、取り組めるようにすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童がやりたいと思えるような課題の選択肢を作成し、児童がやりたいことを決めたり、友達と協働で活動したりする学習過程を設定する。【決定】</li> <li>知りたい情報の資料を集めるためのスキルを身に付ける場を設定する。【発見】</li> </ul>	A
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい音程を理解したり、お互いの声や、伴奏を聴いて合わせたりすること。</li> <li>楽しみながら音楽に親しめるようにすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目をつぶって音に集中する時間を取り入れ、音程の違いを意識させる。【決定】</li> <li>手遊びや昔遊びに触れる場を設定し、ペアで相互に伝え合うなど、場の設定をする。【表現・対話】</li> </ul>	B
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現活動がより深まるよう、発想を広げていくこと。</li> <li>様々な材料から創造できるようにすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発想を共有する時間を設定し、友達の工夫を自分の作品に生かすことが出来るようにする。【発見・対話】</li> <li>主材料の他に様々な材料を用意して、材料から発想して工夫できるようにする。【発見・表現】</li> </ul>	A
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動に興味をもたせ、うまくできる方法を考え、自分なりのコツをつかむこと。</li> <li>ルールを守ったり、安全に運動したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループでの活動を意図的に配置し、遊びのポイントを共有したり、児童同士で評価し合ったりする。【対話】</li> <li>全体でルールの確認や、安全に運動するために大切なことを確認する。児童の意見を取り入れながらルールを作る。【対話】</li> </ul>	B

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和7年度 府中市立武蔵台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第3学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況
			年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じて自分の考えを伝えたり、相手が何を伝えたいのかを考えて聞いたりすること。</li> <li>順序立てて書き、表現を工夫して文章を書くこと。</li> <li>段落相互の関係を意識しながら、筆者の考えとその理由や事例などについて、文章を根拠にして読み取ること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対話を促す環境を整えることで、相手意識や目的意識をもちながら、伝え合いができるようにする。【対話】</li> <li>作文指導等では、内容の中心をはっきりさせ、構成メモを活用して順序立てて書くことができるようにする。【表現】</li> <li>筆者の考えとその理由や事例を、サイドラインを引いて分けさせたり、文章全体の中心や段落の中心を意識しながら読み取らせたりする。【決定】</li> </ul>	B
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗法や除法、3位数の加法及び減法の計算を正しく行い、量の単位などを理解、定着させること。</li> <li>文章問題で問われていることを正しく理解したり、導き出したことを正しく表現したりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドリル・プリント等を活用しながら繰り返し課題に取り組み、知識及び技能の定着を図る。必要に応じて、数の合成・分解、乗法九九などの基礎的な計算を個別に指導する。【決定】</li> <li>文章問題を読み、線分図などを活用して何を問われているかを理解し、解決する。解決したことを図や式を用いて簡潔に表したり、式と図を関連付けて式を読んだりする機会を設定し、友達と考え方を共有することで理解を深めさせる。【発見・対話】</li> </ul>	A
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験を通して調べたり、観察したりした結果を基に、共通点や差異点を見付けること。</li> <li>昆虫や植物の観察をしたり、問題を解決するために実験を行ったりすることで、知識及び技能の定着を図ること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験では、ICT機器を活用して結果を記録するなど、実験・観察の視点に沿って比較しやすくする。実験後はグループで結果を考察をする時間を確保し、共通点や差異点が見つけられるように進める。【対話・表現】</li> <li>実験は、一人一人が取り組めるように教材の工夫をする。また、日常生活と結び付けて考える場面を設け、知識の定着を図る。【決定】</li> </ul>	B
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料から必要な情報を読み取ること。また、読み取った内容を考察し、自分の考えをもつこと。</li> <li>身の回りの地域や府中市の様子や人々の暮らしについて理解すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器を活用して、資料の読み方を視覚的に理解できるように工夫する。また、学習課題をもち、互いの考えを発表し合い解決させる。【対話・表現】</li> <li>観察や調査・見学等の体験的な活動を行うことで、より深く理解できるようにする。【決定】</li> </ul>	B
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽器の奏法、音色に気を付けながら演奏をすること。</li> <li>リコーダーなど、技能面で個人差が生まれやすいこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>良い音色の演奏を聴いたり体験したりして、楽器の特性を理解することで、自分も素敵な音で演奏したいという意欲を高める。【決定・表現】</li> <li>児童が課題をもち、解決できるようにスモールステップで、段階的に指導に取り組む。【発見・対話】</li> </ul>	B
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の制作だけでなく、友達の表し方に関心をもち、それを認めること。</li> <li>自分の思いだけでなく、友達の作品を自身の作品に取り入れること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制作活動の中に、友達の作品を鑑賞する時間を設ける。友達の作品の良さを言葉で伝える活動を取り入れる。【発見・対話】</li> <li>友達の良いところを自身の制作活動に取り入れるようにする。【発見・表現】</li> </ul>	A
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>走ることや投げることなどの基本的な技能の定着に、個人差があること。</li> <li>運動が苦手な児童にも、興味をもって活動させること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器を用いることで、めあてに対しての振り返りが適切に行えるようにする。また、児童同士で声を掛け合い、振り返りをする。【発見・対話】</li> <li>ルールを工夫したり、簡単なゲームをしたりして興味をもてるようにする。児童に合った形で運動できるようにスモールステップで課題を設定できるようにする。【発見】</li> </ul>	B

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和7年度 府中市立武蔵台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況
			年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝えたいことを相手に分かりやすく伝えること。</li> <li>既習の漢字を積極的に使って文章を書くこと。</li> <li>文章を正しく読み、内容を理解すること。</li> <li>読書の世界を広げ、語彙力を高める読書につなげること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話したいことを分かりやすく伝えるために自分の考えと比較しながら相手の話を聞き、差異点や共通点に目を向けて感想や質問を話せるようにする。【対話・表現】</li> <li>ノートやプリントなどには、習った漢字積極的に書くよう指導するとともに、児童が漢字に親しみをもち、正しく使えるよう、漢字辞典や国語辞典を身近に置き、必要に応じて活用することができるよう学習環境を整える。【表現】</li> <li>段落相互の関係や文章構成に着目し、説明文等を読み取り、共有する。【対話・表現】</li> <li>毎週の読書の時間の確保や調べ学習の仕方を本や電子図書から取り組むことで知識、言語力の向上を目指していく。【表現】</li> </ul>	A
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な四則計算の筆算の定着や基本的な図形の作図をすること。</li> <li>文章問題で問われている内容を理解し、学習した内容を応用できるようにすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆算の習熟を図る課題に適宜取り組ませる。必要に応じて、数の感覚や空間認識を身に付けられるよう指導し友達と考えを共有する【対話】</li> <li>内容を図解してから解く習慣を付けさせる。学習した内容を反復して練習することにより、他に生かす力を伸ばしていく。【決定・表現】</li> </ul>	B
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けること。</li> <li>問題想起から仮説を立て、自分の考えをまとめること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題をもち、解決する意図を理解した上で、観察や実験に取り組ませる。【発見】</li> <li>問題に対する自分の考えをはっきりさせるためにノート絵や図、理科の言葉を使ってまとめたりできるようにする。【決定・表現】</li> </ul>	B
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の知識や経験と、授業で習った知識をつなぎ合わせて、考えを深めたり広めたりすること。</li> <li>学習して分かったことや自分の考えをまとめて書くこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元や授業の冒頭で、児童の既存の知識や経験を話し合う機会を設ける。授業で分かったことを基に理由や予測をする活動に取り組ませる。【対話】</li> <li>授業の最後に振り返りの時間を設定し、分かったことや自分の意見・考え等をまとめる。【決定】</li> </ul>	B
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に取り組むことができるが、思いをもって考えながら演奏すること。</li> <li>知識・技能面で個人差があり、全体に身に付くのに時間がかかること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてを明確化し、主体的に目標や課題を発見できるような場の設定や声掛けをする。【発見】</li> <li>スモールステップで段階的に取り組む活動を設定し、ペアで確認し教え合いながら基本的な技能を身に付けさせる。【発見・対話】</li> </ul>	B
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>形ができてきた作品を、さらに良くしていこうと、作品を深めたり良さを追求したりすること。</li> <li>材料等のよさに気付き、その特長を生かすこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の中に鑑賞の時間を取り入れ、他者の良いところを認め、吸収できるようにする。【発見・対話】</li> <li>材料や描画材の特徴や良さを知り、それを生かした表現ができる。【発見・表現】</li> </ul>	B
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単なきまりや活動を工夫して、各種の運動を楽しくできるようにすること。</li> <li>友達と関わり合いながら体育用具や施設を安全に使うこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の工夫として、ICT 機器を使用し自己の動きを見合い、話し合いながら互いに運動を楽しんでいくようにする。【対話】</li> <li>用具の準備や安全確認を計画的に行い、事前に児童へ活動内容や注意点を伝えつうえで、児童とともに授業環境を整えるようにする。【発見】</li> </ul>	B

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和7年度 府中市立武蔵台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第5学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況
			年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し手の意図を考えて聞いたり、内容を正確に聞き取ったりすること。</li> <li>筋道立てて考えたり、自分の意見をもったりする力を養い、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアやグループで対話する機会を多く設定し、伝える力や聞く力を高め、深い考えをもてるようにする。【対話】</li> <li>思考ツール等を活用し、話の内容や考えが明確になるように、事実と感想、意見とを区別しながら考えられるようにする。【決定】</li> </ul>	B
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題の内容を読み取り、課題をもち、順序立てて、解決方法を説明すること。</li> <li>単分量あたりや、割合の意味を理解すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>思考過程を図や式、表などで表し、演算決定への筋道とその計算過程を論理的に考え、友達に説明できるようにする。【対話】</li> <li>既習事項を生かし、丁寧に学習する習慣を養い、線分図・数直線などの活用により、全体と部分、単分量や割合に関する感覚を身に付け、未習熟の知識を身に付けようとする力を養う。【発見】</li> </ul>	B
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験や観察を行い、活動を通して知識及び技能の定着を図ること。</li> <li>実験・観察から明確になったことを基に、考察すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察・実験の機会を多く設け、日常生活に結び付けて考える場面を作ることで、知識及び技能の定着を図る。【決定】</li> <li>予想、仮説、観察・実験の方法について段階的に指導し、考えたり自分の言葉で説明したりする場面を設けることにより、論理的に考える力を養う。【表現】</li> </ul>	B
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味・関心をもって学習するとともに社会に見られる課題を把握し、習得した知識や技能を活用して課題を解決すること。</li> <li>複数の情報を踏まえ、それを理解した上で多角的に捉えて考える力を養うこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題をもち、その都度自力解決することで、知識の定着を図ったり、思考力を高めたりする。【発見】</li> <li>各々が資料から読み取った情報を図表にまとめ、全体で共有する。【決定】</li> <li>学習した内容を日常生活に結び付け、社会事象への見方、考え方を養う。</li> </ul>	A
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習に取り組む意欲に個人差があること。</li> <li>楽器で演奏に対して苦手意識をもっていること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループでの活動を取り入れながら、お互いに高め合えるように配慮する。各自が役割を意識して活動ができるよう注意をして観察し、声をかける。【対話】</li> <li>スモールステップでめあてを明確化し、子供同士で教え合える場の設定を工夫する。【発見・対話】</li> </ul>	A
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の表し方を認め、受け入れること。</li> <li>形ができてきた作品を、さらに良くしていこうと、作品を深めたり良さを追求したりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品を鑑賞する時間を作り、友達の制作した作品について、工夫を見付ける活動を取り入れる。【発見・対話】</li> <li>活動の中に鑑賞の時間を取り入れ、他者の良いところを認め、吸収できるようにする。【発見・表現】</li> </ul>	B
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>裁縫や調理では、実習などの活動を通して技能の定着を図ること。</li> <li>日常生活で課題をもち、家庭の仕事や生活で行かせるようにすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習等の活動を通して、裁縫や調理の仕方についての知識及び技能を習得させる。【決定】</li> <li>日常生活の中から課題を見出して解決方法を考える場面を設け、家庭の仕事に興味・関心をもたせる。【発見】</li> </ul>	B
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な動きを理解し、その知識や技能を身に付けること。</li> <li>関わり合いを通して取り組み方を工夫すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動きのポイントやコツを共有し、明確にする。また課題をもち、自分に合った練習に取り組み、スモールステップで段階的に身に付けることで達成感を味わわせる。【発見】</li> <li>ペアやグループで学習活動を行い、児童の積極的な関わりの中でアドバイスし合う場を設定し、よりよい動きを工夫できるようにする。【対話】</li> </ul>	B
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に教師や友達と発話しようとする事。</li> <li>積極的に対話し、英語での表現に取り組もうとする事。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師や友達と発話をする活動を多く設定し、発話をする事への抵抗感をもたないようにする。【対話】</li> <li>発音や発話の正確さを求めるのではなく、楽しんで取り組める活動や課題を多く設定し、自然に英語の理解が高まるようにする。【発見】</li> </ul>	B

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和7年度 府中市立武蔵台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第6学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況
			年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の構成を考えて書くこと。</li> <li>文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。</li> <li>相手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>付箋やタブレット端末を活用し、文章の構成や正確な漢字で書くことを考える時間を確保したり、感想や意見を共有したりする時間を設定する。【表現】</li> <li>自分の意見や感想をもつ時間を確保する。その上で、違いやよさに気付けるようにする。【発見】</li> <li>話し合いや発表の時間などで、ペアやグループ活動を多く取り入れ、自分の考えと比較しながら聞き、伝え合う機会を多く設定する。【対話】</li> </ul>	B
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>整数、小数、分数を適切に用いて、解決方法を考え、正しく計算できるようにすること。</li> <li>課題解決の目的に適した図やグラフ、表にまとめ、調べること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>約分、通分の概念を理解したり、数の関係性を的確に捉えたりできるように、授業の始めに短時間で取り組めるプリントを用いて繰り返し復習する。また、必要に応じて個別に指導する場面を設け、自信をもって学習に向き合えるようにする。【発見・決定】</li> <li>図や表に表して解決する場面を日常的に設け、繰り返し取り組むことで、学習したことを生かそうとする姿勢を育て、立式したり、特徴を友達に説明したりすることができるようにする。【対話】</li> </ul>	A
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対して、予想したり、結果をもとに考察したりすること。</li> <li>根拠を明確にして発表すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察や実験などに関する基本的な技能を身に付けるとともに、予想を立て、結果を整理し考察する学習を展開する。【決定】</li> <li>グループ学習を多く取り入れ、発表する経験を計画的に積み重ねていくことで、言語活動の充実を図る。【対話】</li> </ul>	B
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料をもとに、自分の考えをもったり、事実をとらえたりすること。</li> <li>歴史分野では、それぞれの時代の流れや事柄のつながりを考えること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書や資料から読み取ったことをまとめたり、事象に関連することを見付けたり、比較したりする中で互いの気付きを伝え、考えを広げる学習を展開する。【発見】</li> <li>単元のはじめやまとめに、タブレットで調べたりまとめたりする活動を取り入れ、つながりを意識した授業を展開する。【決定】</li> </ul>	B
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>演奏を通して思いを表現し、自信をもって発表すること。</li> <li>曲の作りにも目を向けて演奏や表現に生かすこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と合わせて表現する活動から、個人で表現できるようにする。また、少人数の前からみんなの前で表現するという経験を積み重ね表現することに慣れていくようにする。【表現】</li> <li>音楽の構成を理解することで、曲の盛り上がりや特徴をとらえて表現させ、思いが表現につながるための技能を身に付けさせる。【表現・対話】</li> </ul>	B
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の作りたいものに合った表し方を選択し、自分らしい表現ができること。</li> <li>作りたいものに合わせて、制作の仕方や技法を変えること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイデアスケッチなどで制作の見通しをもたせ、表したいものに必要なものを考える時間を設定する。【表現】</li> <li>さまざまな技法や表し方を丁寧に紹介して、自分に合った表現方法を選択できるようにする。【発見・表現】</li> </ul>	B
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活から課題を見出し、解決すること。</li> <li>よりよい家庭生活について具体的にイメージし、工夫すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活を見直したり、改めて振り返る機会を設定したりして、児童が自分ごととして、課題に向き合うことができるようにする。【発見】</li> <li>家庭学習と関連付け、家庭での実践につなげられるようにする。【決定】</li> <li>授業で学んだ知識と体験を発信し、家庭生活に役立つことの喜びを味わえるようにする。【表現】</li> </ul>	B
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のめあてに向けて活動の仕方を工夫すること。</li> <li>児童が運動の中で見方や考え方を働かせ、自ら課題を見つけ、その解決に向けて学習過程を主体的に構築して取り組むこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の楽しさを味わえる工夫をするとともに、自己の課題に応じた場や練習の仕方を選択してスモールステップで取り組めるようにする。【決定】</li> <li>ペアやグループで運動のコツやアドバイスを伝え合うことで、技能の向上につなげられるようにする。【対話】</li> </ul>	A
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字の表記に慣れ、積極的に活動に取り組むこと。</li> <li>積極的に発言をしてコミュニケーションをとること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすく文字を表示したり、文字自体を練習したりする活動を多く設定し、英語で表記することを重点的に指導する。【決定】</li> <li>コミュニケーションをとる場面を多く設定していく。【対話】</li> </ul>	B

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。